学校番号	３１８

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	MOUSA ２（教育芸術社）						
副教材等	高校生のための音楽研究ノート　（教育芸術社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌唱」「器楽」「鑑賞」「創作」の４つの分野を年間通して学習します。
・音楽Ⅰで習得した技術をさらに発展させ、合唱や合奏の楽しみを味わうことを目指します。又、音楽文化についての理解を深め、読譜力を身につけ、個性豊かな表現と積極的に音楽を楽しむ姿勢を養うことを目指します。
・学習の到達度は、実技テストのほか、ワークシートや振り返りの提出、授業への取り組みの積極性で評価します。
・音楽が、生涯ずっとみなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2　学習の到達目標

音楽Ⅰで習得した技術をさらに発展させ、合唱や合奏の楽しみを味わう。又、音楽文化についての理解を深め、個性豊かな表現と積極的に音楽を楽しむ姿勢を養う。生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。 ・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱、器楽、創作などで表している。	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージを持ってどのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながら良さや美しさを味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり、主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	ハーモニーを楽しもう	混声4部合唱 「赤とんぼ」	a: 曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じとって理解し、イメージをもって合唱するために必要な歌唱の技能（発声、言葉の発音、呼吸法、姿勢や身体の使い方）を身につけ、協力し合い創造的に表している。 b: 旋律、ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c: 曲想と文化的・歴史的背景との関わりに関心を持ち、合唱活動に主体的に取り組もうとしている。	・実技テスト ・観察	・実技テスト ・振り返りシート ・観察	・実技テスト ・振り返りシート ・観察
	創作を加えた、ギターでの弾き語りを楽しもう	ギター弾き語り 「天体観測」	a: 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わりおよびその関わりによって生み出される表現上の効果や、様々な表現形態による器楽表現の固有性や多様性について理解している。 b: 旋律と和音の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら表現を工夫している。また、音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、創意工夫を生かした創作表現をしている。 c: ギター弾き語りの基礎的な奏法の特徴に関心を持ち、演奏活動に主体的・協働的に取り組もうとしている。	・実技テスト ・観察	・実技テスト ・振り返りシート ・観察	・実技テスト ・振り返りシート ・観察
2学期	アンサンブルの楽しみ	アンサンブル 自由課題	a: 楽曲や楽器の特徴を理解し、表現したいことを伝えるための歌唱や器楽の技能を身につけている。 b: 旋律、リズム、速度など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、曲種に応じた表現を工夫し、どのように表現するかについて意図をもっている。 c: アンサンブルに関心を持ち、コミュニケーションを取りながら演奏することに主体的に取り組もうとしている。	・発表会 ・記録表	・発表会 ・記録表	・発表会 ・相互評価 ・振り返りレポート ・記録表
	読譜の基礎	音楽理論 ・5度以上の音程 ・コードネームについて	a: 音楽を形づくっている要素を知覚し、読譜のための知識や音楽理論の基礎知識を身につけている。 c: 音楽や音楽文化に関心を持ち、楽典の学習に主体的に取り組もうとしている。	・観察 ・筆記テスト		・観察

	和楽器に親しみ、日本の文化や心を感じ取ろう	器楽 箏曲「一段」	a：我が国の伝統的音楽に触れ、箏曲の歴史的文化的背景を理解する。箏曲の楽譜を読譜し、楽器の特徴や奏法を理解している。表現したいことを伝えるための技能を身につけている。 b：音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質、楽器の特徴を感受しながら、どのように表現するか、表現意図をもっている。 c：日本の伝統音楽に関心を持ち音色や奏法を意識しながら、演奏することに主体的に取り組もうとしている。	・実技テスト ・観察	・実技テスト ・振り返りシート ・観察	・実技テスト ・振り返りシート ・観察
3学期	音楽を聴をく力をつけよう	鑑賞 時代とオーケストラの変遷	a：楽曲の特徴や文化的歴史的背景、他の芸術や文化との関わりを理解している。 b：音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。 c：管弦楽で扱われる楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	・ワークシート ・筆記テスト	・ワークシート ・楽曲鑑賞	・ワークシート ・観察
	ハーモニーを味わって、豊かな声で歌い上げよう	合唱 「明日の木」	a：曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じとって理解し、イメージをもって合唱するために必要な歌唱の技能（発声、言葉の発音、呼吸法、姿勢や身体の使い方）を身につけ、協力し合い創造的に表している。 b：旋律、ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c：曲想と文化的・歴史的背景との関わりに関心を持ち、合唱をする学習に主体的に取り組もうとしている。	・実技テスト ・観察	・実技テスト ・振り返りシート ・観察	・実技テスト ・振り返りシート ・観察

	パーカッションと、キーボードの合奏を楽しもう	全体合奏 ウッドブロック、トライアングル、キーボード 「シンコペーテッド・クロック」	a: キーボードやパーカッションの特徴を理解し、基礎的な演奏技能を身につけ、創造的に表している。 b: 旋律と和音の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら表現を工夫している。 c: キーボードやパーカッションの基礎的な奏法の特徴に関心を持ち、合奏で演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。	・実技テスト ・観察	・実技テスト ・振り返りシート ・観察	・実技テスト ・振り返りシート ・観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度